



南丹市陸上競技協会

南丹市陸協通報

『この1年を振り返って』

南丹市陸上競技協会

理事長 関 隆 宏

本年度の事業も会員皆さまのご協力により無事終了することができました。

4月29日の春季小学生記録会は晴天のもと実施できましたが、午後からの強化記録会については天候が急変し、雷雨となり中止せざるを得ませんでした。判断に苦しみましたが、すぐ決断したことにより大事には至りませんでした。その後、1時間程度で晴れ間が出てきたので参加者に無料開放し、喜んでいただきました。

7月17日、第36回目となる南丹市陸上競技選手権大会を実施し、昨年以上に多くの参加となり、施設の充実とともに、大会も益々充実してきました。

10月28日に開催しました秋季記録会も参加者数が安定してきました。

また、ジュニア陸上教室においては、岡本強化部長を中心に充実したものとなって参りました。

京都丹波ロードレースにおいても、今まで減少の一途でありましたが、本年度は、参加者数の減少に歯止めがかかったことはうれし限りであり、今後とも努力を続けていきたいと思えます

来年度も本年度同様、会員の皆さまにはお世話になりますが、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

編集後記

本年度の南丹市陸協通報発行にあたり、ご協力、寄稿いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

決まったことを決まった通りにお知らせすることも大切ですが、この通報はできるだけ会員の皆さまに南丹市陸協の活動や会員が持つ独自ニュースなどをピックアップしてお知らせしていきたいと思っております。

これから皆さまからの寄稿・投稿をお待ちいたしますので、よろしく願います。

広報部

アスリートインタビュー

明日をリード!



南丹市立八木東小学校 6年
国府 久楽楽さん

第33回京都府小学生陸上競技選手権大会に、丹波地区予選1位で出場し、小学生の駅伝大会でも素晴らしい活躍をされた南丹市立八木東小学校6年生の国府さんに陸上競技に関する思いをインタビューしました。

Q：陸上を始めたきっかけは？

A：姉が陸上大会に出ていたので、ついていって見ているうちに自分も出場してみたいと思ったからです。

Q：800m走に出ようと思ったのはどうしてですか？

A：いろいろな種目を経験した中で、初めて800mを走ったときにいい記録だったので自分にあっていると思ったからです。

Q：西京極陸上競技場で走った時の感想はどうでしたか？

A：周りの人がとても速くてびっくりしました。スタートまでとても緊張したけど、一生懸命走って自己ベストを出すことができたので嬉しかったです。

Q：駅伝で、区間賞を取ったときは、どんな気持ちでしたか？

A：5年生で出場したときもねらっていたし、あと少しで区間賞が取れなくて悔しかったけど、今年は取ることができたのでとても嬉しかったです。

Q：あなたにとって、走ることは？

A：競い合っていないなくても、走ることが大好きです。そして、全てのスポーツの基本だし、大切なことだと思っています。

Q：これからの目標は？

A：4月からは中学生になります。駅伝大会や陸上大会で、京都府大会に出ることを目標にしています。

2017年9月24日(日)京都府小学生陸上競技選手権大会丹波地区予選
 <<南丹・京丹波関係結果>>

【男子】

種目	順位	氏名	成績	所属
100m	1位	川邊 勝哉	13秒35	和知小
800m	2位	西口 恵唯	2分37秒76	美山小
	7位	橘 明伸	2分48秒37	瑞穂小
	8位	福田 魁人	2分49秒07	園部第二小
走高跳	2位	前田 晃志	1m25	瑞穂小
	5位	大槻 歩夢	1m05	胡麻郷小
	6位	松原 絆人	1m05	胡麻郷小
	7位	中野 龍	1m05	美山小
走幅跳	8位	小芦 環太	1m05	胡麻郷小
	4位	八木 拓音	3m58	八木西小
	6位	西田 桜基	3m52	瑞穂小
	8位	瀧上 翔平	3m39	胡麻郷小
ジャバリックボール投	8位	土佐 悠太	33m96	瑞穂小
4×100R	7位	松原絆人、小林宝良、 宇野颯真、池田楓馬	1分02秒55	胡麻郷小

【女子】

種目	順位	氏名	成績	所属
100m	4位	片山 梨衣奈	15秒48	和知小
800m	1位	国府 久楽楽	2分43秒33	八木東小
走高跳	2位	池田 夏捺	1m23	胡麻郷小
走幅跳	2位	山田 碧美	3m75	美山小
	3位	津田 怜衣	3m63	和知小
	5位	桂 由衣	3m23	胡麻郷小
	8位	松本 結莉	3m02	八木東小
ジャバリックボール投	7位	桂 仁雛	21m19	下山小
4×100R	6位	中嶋歩乃花、谷柚佳里、 平井柚希奈、山田碧美	1分03秒66	美山小
	7位	津田怜衣、片山梨衣奈、 原田心愛、片山來葉	1分04秒66	和知小
	8位	北井愛美、池田夏捺、 桂 由衣、牧野奈々子	1分09秒53	胡麻郷小 瑞穂小 胡麻郷小

南丹市陸協の前身である船井郡陸協当時から協会の中心的役割を担っていただけてきた『TEAM P-man』。

今年、設立30周年を迎えられました。

クラブ紹介!!

(投稿：内藤竹司氏)

「一歩青春 一歩感動 一歩感謝」



TEAM P-man とは何だ？

野菜のピーマンとは何も関係ありません。

誰にも負けない力強い (Powerful)・肉体 (Physical) を持ち、情熱的 (Passion) で、純粹 (Pure) で、礼儀正しく (Preper)、経験豊富 (Practica) i)。そして女性はかわいく (Pretty)。そんな人間 (man) の集団です。チームカラーは

紫 (Purple) で由来は定かではありませんが、差し詰め京紫といったところでしょうか。

TEAM P-man はトライアスロンを中心に活動するクラブとして1987年に結成され、1989年からは陸協に登録していますが、その前身となるのは1984年に結成された「丹波養護教員クラブ」です。1988年には、「FUNRUN T&F」と改名しました。当時は、「FUNRUN T&F」と「TEAM P-man」という2つのクラブがあったわけですが構成メンバーがほぼ同じであったことから、1989年に2つのクラブが統一されました。

2011年には、トライアスロンとそのジュニア育成をメインに活動するメンバーが独立し「保津川トライアスロン倶楽部」を立ち上げ、現在も活動を続けています。

結成以来ちょうど30年、メンバーの入れ替わりもあり、結成当時のメンバーは2人となってしまいましたが、若いメンバーの加入もあり活動そのものは活発になってきています。各地のマラソン大会やリレーマラソン、陸上競技大会、マスターズ大会等に参加し好成績を収めています。また、公認審判の資格を取得し、陸上競技大会の審判活動にも積極的に参加しています。

その一方で、楽しく走るファンランメンバーや、飲み会メンバーも多数在籍しています。さらには、ランニングのみならず登山部・スキー&スノボ部・バイクツーリング部も不定期ではありますが、楽しく活動しています。

平成29年11月3日には30周年記念行事として、ひよしフォレストリゾートでBBQを企画し多くの参加者に30周年を祝っていただきました。これからも50年、100年を目指し、ランニングを通して人の輪を広げていきたいと思っています。